

発起人 東出 浩教 略歴及びご挨拶

略歴

1962年生。1985年 慶應義塾大学経済学部卒業。同年、鹿島建設入社。建設JVのマネジメントや欧州各国における不動産投資の実務に従事。1991年、ロンドン大学インペリアルカレッジ修士課程修了(MBA)。2000年、同カレッジより Entrepreneurship を専攻した日本初の Ph.D を授与される。1998年より早稲田大学ビジネススクール。2006年より早稲田大学大学院アジア太平洋研究科、教授。2008年、早稲田大学大学院商学研究科、教授。現在に至る。起業、創造プロセス、ビジネス倫理と哲学等が現在の主たる研究対象。ベンチャー学会 副会長、多数の各種公的委員会で座長を務めるなど学内外で幅広く活動中。

ご挨拶

BestPractices for Humanity: 「人間らしく」働くことができる「場」に、在学中にインターンなどで接してみる、卒業し働いてみる、そして自分の志に従い新たな「場=ベンチャー」を作るといふ冒険に乗り出してみる、成功の暁には後進の育成を、というようなベンチャー・エコ・サイクルが求められています。ベンチャー稲門会には、日本で始めて、このサイクルを機能させ、モデルケースを示すための大きなポテンシャルが秘められています。先の読めない時代に、自分で考え決断することで道を切り開き、社会に評価されるバリューと雇用を創りだしてきたのは、いつもベンチャー企業であり、起業家のアントレプレナーシップです。私も、ベンチャー稲門会と共に歩み育ちながら、日本から世界に羽ばたく「ボーン・グローバル」なベンチャー企業創出に貢献したいと考えています。